



オメガ7パルミトレイン酸



オメガ7脂肪酸は近年発見され健康・美容両面に優れた希少の油です。
炎症を抑える効果があり、優れた抗炎症作用が、何例も確認されています。

ex) 2017年、メキシコの国立衛生研究所で、潰瘍性大腸炎の患者20人に対し、オメガ7パルミトレイン酸を8週間経口投与した結果、炎症が抑えられた事がわかっています。

脳内血管に入り込める数少ない不飽和脂肪酸の一つであり、
脳血管を丈夫にし、脳卒中を予防する働きがあります。
美容面では肌のバリア機能を高め皮膚の老化を防ぐといわれています。



ナンノクロロプシス粉末には
3.09g / 100g のパルミトレイン酸を含有しています。
一般の“藻”に比べ、約20倍と高含有です。（出所）日本食品分析センターデータ



シーバックソーン、マカデミアナッツ等の食品に一部含まれています。